

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00036)

施策	01	強くしなやかな防災・減災まちづくり
目標	01	みんなでつくる、災害に強く、犯罪を生まないまち
施策担当課	市街地整備課	関係課 土木計画課 都市計画道路担当 狭あい道路

施策目標	区内の建築物の耐震化や無電柱化が進むことで、災害時でも建築物等が倒れにくいまちづくりが進んでいます。 。木造住宅密集地域等において建築物等の不燃化が進んでいることに加え、オープンスペースや円滑な通行のための道路空間が確保されることによって、燃えにくいまちづくりが進んでいます。 東京都の河川改修事業や雨水流出抑制対策などが進むことによって、水害が起こりにくいまちづくりが進んでいます。 災害に強く被災しても迅速に復旧・復興することができるまちづくりが進んでいます。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名(1)	区が助成した耐震診断等の件数(旧耐震基準建築物)	指標名(1)	区内建築物の耐震化率
算式・指標説明		算式・指標説明	耐震性を有する建物棟数÷建物総棟数×100【行政】
指標名(2)	防災まちづくりニュース等の発行回数	指標名(2)	木造住宅密集地域(不燃化特区)の不燃領域率
算式・指標説明		算式・指標説明	空地率+(1-空地率÷100)×不燃化率【行政】
指標名(3)	雨水浸透施設設置助成戸数	指標名(3)	雨水流出抑制対策施設の整備率
算式・指標説明		算式・指標説明	流域豪雨対策計画の目標対策量(627,000m ³)に対する雨水流出抑制対策整備量の割合【行政】
指標名(4)	道路拡幅整備延長	指標名(4)	狭あい道路の拡幅整備率
算式・指標説明	道路の拡幅整備が完了した延長	算式・指標説明	「拡幅整備を要する総延長(614km)」に対する「拡幅整備総延長」が占める割合【行政】
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分			単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度
				実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標（ 1 ）	1	件	175	700	153	240	164		
	活動指標（ 2 ）	2	回	8	6	6	6	7		
	活動指標（ 3 ）	3	戸	32	150	42	100	50		
	活動指標（ 4 ）	4	m	7,859	10,000	7,009	10,000	6,671		
成果指標	成果指標（ 1 ）	5	%	92.0	96.0	92.9	94.0	93.7	99%以上	令和12年度
	成果指標（ 2 ）	6	%	61.3	0.0	62.2	63.2	62.8	70%	令和12年度
	成果指標（ 3 ）	7	%	54.4	60.0	55.5	59.2	56.8	83%	令和12年度
	成果指標（ 4 ）	8	%	39.5	41.1	40.7	42.8	41.7	55.8%	令和12年度
	成果指標（ 5 ）	9								
	成果指標（ 6 ）	10								
施策コスト	事業費	11	千円	2,194,941	4,195,653	3,461,049	3,189,459	2,223,492	特記事項	
	人件費	12	千円	392,637	375,164	384,073	325,841	337,259	指標（ 1 ）については、令和4年度からの総合計画により見直しをしています。	
	総事業費 (11+12)	13	千円	2,587,578	4,570,817	3,845,122	3,515,300	2,560,751		
	国・都からの補助金等	14	千円	727,139	1,816,284	1,737,539	1,277,606	738,814		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			48.6	23.1	33.4		
	人件費比率 (12÷13)	16	%	15.2	8.2	10.0	9.3	13.2		

課題・分析	<p>近い将来に発生するおそれが指摘されている首都直下地震等や、近年多発する集中豪雨や台風に備えるため、建物が倒れにくく燃えにくい風水害に強いまちづくりを進めることが喫緊の課題です。倒れにくく燃えにくいまちづくりの推進について、耐震化・不燃化の助成は建築資材の高騰等により件数が減少しており、今後の状況変化を把握しつつ、さらなる利用の促進が求められます。また、避難路等を確保するために重要な橋梁については、老朽化していく中でコストを縮減しつつ健全性を保持する予防保全型の維持修繕の重要性が増しています。</p> <p>風水害に強いまちづくりの推進については、河川や下水道整備などのハード面の対策や、雨水流出抑制対策の推進が求められています。この中で、民間施設の雨水流出抑制対策の促進を目的とした助成制度は実績数が減少から増加に転じてきていますが、狭小敷地や建築資材の高騰などから雨水浸透施設の設置が難しいとの声が多くなっており、目標の達成には更なる取組が必要です。</p>				
施策の成果	<p>建物が倒れにくく燃えにくい風水害に強いまちづくりを推進するため、各種助成や基盤整備、体制強化等ハードとソフト両面からの対策を着実に行いました。</p> <p>助成事業については、個々の建築物等の改修・更新や施設等の整備を一軒一軒着実に促すことで、エリア一帯での防災性向上を図りました。耐震化・不燃化の助成については、木造住宅へのボスティングによる制度周知の効果等もあり、耐震化率・不燃化率とも着実に上昇しています。雨水流出抑制対策については、公共施設をはじめ、民間施設への対策指導・協力要請や個人住宅等への雨水浸透施設設置助成を実施するなど、流域対策の目標の達成に向けた官民一体となった取組を行いました。</p> <p>区自らが行う基盤整備については、馬橋通り拡幅整備や馬橋えんがわ公園整備を行うとともに、橋梁の長寿命化修繕・耐震補強工事、狭あい道路拡幅整備及び電柱の移設を着実に進めました。</p> <p>また、ソフト的な対策として、局地的大雨にも迅速に対応できる水防態勢の強化や、区民への迅速・的確な情報提供を行うために、日頃の備えから避難行動に至るまでの役立つ情報をまとめた「水害ハザードマップ」の周知やIoT街路灯システムを活用した浸水状況の監視強化を行いました。さらに、職員が水防態勢時の各自の役割を十分発揮できるよう、より効果的な訓練を実施しました。</p>				
<div>改善・見直しの方向</div> <div>中長期</div>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="116 819 379 864">今後の施策の方向性</th><th data-bbox="379 819 1557 864">現状維持</th></tr> <tr> <th data-bbox="116 1010 379 1043">今後の進め方</th><td data-bbox="379 864 1557 1218"> <p>建物が倒れにくく燃えにくい風水害に強いまちづくりを推進するため、引き続き各施策に取り組みます。</p> <p>各種助成については、周知啓発活動や制度拡充等を通して、さらなる利用促進を図り、耐震化率・不燃領域率・雨水流出抑制対策施設の整備率の向上を図ります。加えて、杉並区耐震改修促進計画に基づき計画的・総合的に耐震化を進めつつ、不燃化特区である方南一丁目地区では、防災まちづくり計画を策定を目指します。また、雨水流出抑制対策については効果的な取組の検討を進めます。</p> <p>基盤整備について、橋梁は予防保全型の修繕方針に沿って安全かつ効率的な施設管理に努めます。加えて、確実な狭あい道路拡幅整備及び電柱移設を実施し、円滑な通行の確保に取り組めます。</p> <p>また、既存のシステムやIT技術を活用して、より効果的な情報提供について検討を行い、局地的大雨にも柔軟に対応できる水防態勢を充実していきます。また、東京都が進める河川・下水道整備の早期実現に向け、都との連携・協力を強化するなど、治水対策を総合的に推進していきます。</p> <p>これらの施策を通して、あらゆる災害を想定し事前に備えることで、災害に強く被災しても迅速に復旧・復興することができる、安心して住み続けられるまちを目指します。</p> </td></tr> </table>	今後の施策の方向性	現状維持	今後の進め方	<p>建物が倒れにくく燃えにくい風水害に強いまちづくりを推進するため、引き続き各施策に取り組みます。</p> <p>各種助成については、周知啓発活動や制度拡充等を通して、さらなる利用促進を図り、耐震化率・不燃領域率・雨水流出抑制対策施設の整備率の向上を図ります。加えて、杉並区耐震改修促進計画に基づき計画的・総合的に耐震化を進めつつ、不燃化特区である方南一丁目地区では、防災まちづくり計画を策定を目指します。また、雨水流出抑制対策については効果的な取組の検討を進めます。</p> <p>基盤整備について、橋梁は予防保全型の修繕方針に沿って安全かつ効率的な施設管理に努めます。加えて、確実な狭あい道路拡幅整備及び電柱移設を実施し、円滑な通行の確保に取り組めます。</p> <p>また、既存のシステムやIT技術を活用して、より効果的な情報提供について検討を行い、局地的大雨にも柔軟に対応できる水防態勢を充実していきます。また、東京都が進める河川・下水道整備の早期実現に向け、都との連携・協力を強化するなど、治水対策を総合的に推進していきます。</p> <p>これらの施策を通して、あらゆる災害を想定し事前に備えることで、災害に強く被災しても迅速に復旧・復興することができる、安心して住み続けられるまちを目指します。</p>
今後の施策の方向性	現状維持				
今後の進め方	<p>建物が倒れにくく燃えにくい風水害に強いまちづくりを推進するため、引き続き各施策に取り組みます。</p> <p>各種助成については、周知啓発活動や制度拡充等を通して、さらなる利用促進を図り、耐震化率・不燃領域率・雨水流出抑制対策施設の整備率の向上を図ります。加えて、杉並区耐震改修促進計画に基づき計画的・総合的に耐震化を進めつつ、不燃化特区である方南一丁目地区では、防災まちづくり計画を策定を目指します。また、雨水流出抑制対策については効果的な取組の検討を進めます。</p> <p>基盤整備について、橋梁は予防保全型の修繕方針に沿って安全かつ効率的な施設管理に努めます。加えて、確実な狭あい道路拡幅整備及び電柱移設を実施し、円滑な通行の確保に取り組めます。</p> <p>また、既存のシステムやIT技術を活用して、より効果的な情報提供について検討を行い、局地的大雨にも柔軟に対応できる水防態勢を充実していきます。また、東京都が進める河川・下水道整備の早期実現に向け、都との連携・協力を強化するなど、治水対策を総合的に推進していきます。</p> <p>これらの施策を通して、あらゆる災害を想定し事前に備えることで、災害に強く被災しても迅速に復旧・復興することができる、安心して住み続けられるまちを目指します。</p>				

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 01】【施策名称 強くしなやかな防災・減災まちづくり】 金額の単位は千円 (00036)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 355	防災まちづくり			160,945	36,266	197,211	推進（拡充）
2 358	不燃化促進住宅管理			1,442	5,114	6,556	現状維持
3 378	耐震化の促進			584,167	51,812	635,979	現状維持
4 380	ブロック塀等安全対策支援事業			14,202	8,568	22,770	現状維持
5 399	狭あい道路拡幅整備			1,123,554	172,506	1,296,060	現状維持
6 400	水害多発地域対策の推進			15,826	2,163	17,989	現状維持
7 401	橋梁の長寿命化と補強・改良			71,966	13,475	85,441	現状維持
8 402	河川維持管理			132,629	26,626	159,255	現状維持
9 404	水防対策			103,693	9,813	113,506	現状維持
10 405	雨水流出抑制対策等工事助成			15,068	10,916	25,984	現状維持
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				2,223,492	337,259	2,560,751	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	事務事業名称：防災まちづくり 事由：不燃化特区の取組みについて、これまでの老朽建築物除却や新築建築物の「設計費等」の助成に加え、都の補助金交付制度を活用して新築建築物の「工事費」を助成する制度を導入し、不燃領域率の更なる向上を目指します。
-------------------------	--